

『大災害における危機管理』

首都圏でも大震災の発生が言われていますが、地球温暖化の影響と思われる集中豪雨や巨大台風、大竜巻等の自然災害の発生の危険性もあります。更に、パンデミックや大規模なDDoS攻撃等の大規模サイバー攻撃等も大きな影響を及ぼす可能性があります。そのようなとき、図書館として、リスク管理や危機管理をどのように考える必要があるのかを考察していきます。

平成24年 **7月19日** (木) 15時～16時30分

講師： **内田勝也** さん

会場： **都立中央図書館 4階 多目的ホール**

対象・定員： **TLA会員・先着100名**

※ 定員超過の場合は、ご連絡いたします。

申込方法： **メール又はハガキで事務局まで。**

※ 会員番号、氏名、住所、連絡先を必ずお書きください。

E-mail: S0200333@section.metro.tokyo.jp

申込期限： **7月10日(火)まで(必着)**



【内田勝也さんプロフィール】

情報セキュリティ大学院大学教授／横浜市CIO
補佐監（2007年～現在）

電気通信大学経営工学科卒（1968）。中央大学理工学研究科博士課程修了（2006）。博士（工学）。

オフコンディナーにてCOBOLコンパイラ開発やユーザー支援等を担当。在日外国銀行でシステム監査／業務監査などを担当。大手損害保険会社にてコンピュータ保険導入検討や情報セキュリティ調査研究等に従事。

中央大学にて「ネットワークセキュリティ」（修士課程）講師、情報セキュリティ人材育成プロジェクト推進、21世紀COEにて事業推進担当等。情報セ

キュリティ大学院大学にて、情報セキュリティマネジメントシステム、リスクマネジメント等を担当し、2010年3月定年退職。情報通信・情報セキュリティ問題検討委員会委員（2001年～現在）、ISMS審査機関・審査判定委員会委員長（2003年～現在）、日本図書館協会 2011年全国大会 ICTと図書館分科会 基調講演